



Title	大阪大学低温センターだより No.125 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 2004, 125
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/22182
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

〈編集後記〉

2004年新春の「低温センターだより」は、超精密科学研究センター特集号です。2002年7月の「超伝導フォトニクス研究センター特集号」に続いて、最先端の研究センターを紹介する「たより」をお届けします。

今回の特集号では、遠藤氏によって「科学を規範として、あらゆる物理・化学現象を極限まで利用する“原子論的生産技術”を創出し続ける」という超精密科学研究センターの使命が述べられ、センターの前身となる文部省 COE からの成り立ちが紹介されています。平成15年度文部科学省21世紀 COE プログラムに採択され、センターを核として推進されている研究課題の中から5件のトピックスを選ばれて研究ノートで紹介されています。これまでに開発された独創的なプロセス装置によって実際に世界一の“物”を作られ、計測評価されるところまで一貫して研究されるという“物づくり”生産工学の COE 形成を目指され、着実に前進されていると思います。なお、ホームページ (<http://www.upst.eng.osaka-u.ac.jp/>) においても、その革新的な“原子論的生産技術”が紹介されていますので、この「たより」とともにご覧ください。

また、超精密科学研究センターのウルトラクリーン実験施設 (UCF) が、吹田キャンパスの中央、工学部エリアの東端に新築される学術研究実験棟に設置されます。完全ダウントロータイプ（3層構造）の本格的なクリーン環境実験施設で、世界最高の超純水と超高純度ガスを供給できる設備が導入され、これまでの独創的な研究成果を実用化するための共同研究が展開されます。同じ建物の3階は超伝導フォトニクス研究センター、4・5階は創造工学センターで、まさに新しい“物づくり”研究と教育のセンターがここに集結したといえます。2004年秋から本格運用となり、今後の発展が期待されます。

さて、「低温センターだより」では、次の特集号の企画を募集しております。特に新しい組織には良い紹介の場になると思いますので、是非ご一報ください。前号に続いて表紙をカラーの図で飾りましたが、読者の皆様、いかがでしょうか？ご意見などありましたら、何なりとご連絡ください。

（中野元博）

大阪大学低温センターだより 第125号

平成16年1月 発行

編集責任者 北岡 良雄

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号

電話 (06) 6879-7985

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号

電話 (06) 6850-6691

印刷所 阪東印刷紙器工業所

大阪市福島区玉川3丁目6番4号

電話 (06) 6443-0936 (代表)

目 次

No. 125

研究ノート

超精密科学研究センターの使命 －原子論的生産技術の創出－	遠藤勝義	1
超高精度硬X線集光ミラーの製作とナノスペクトロスコピーへの応用 山村和也, 山内和人, 佐野泰久, 三村秀和, 遠藤勝義, 森 勇藏		4
数値制御プラズマCVMによる次世代超薄膜SOIウエハの作製 佐野泰久, 山村和也, 遠藤勝義, 森 勇藏		11
大気圧プラズマCVD法による機能薄膜の超高速形成技術の開発 垣内弘章, 大参宏昌, 安武 潔, 芳井熊安, 遠藤勝義, 森 勇藏		16
超純水のみによる電気化学的加工法の研究 後藤英和, 広瀬喜久治, 遠藤勝義, 森 勇藏		23
強電界下における表面反応の第一原理分子動力学シミュレーション 小野倫也, 広瀬喜久治, 遠藤勝義, 森 勇藏		31
運営組織		35
お知らせ		36

表紙説明：EEMの加工原理（上）と細胞の走査型蛍光X線顕微鏡像（下）